

「移ろう花にも知恵の心」

(竿代 照夫 牧師)

【 詩篇 90 篇 1-12 節 】

1 主よ。あなたは代々にわたって私たちの住まいです。2 山々が生まれる前から、あなたが地と世界とを生み出す前から、まことに、とこしえからとこしえまであなたは神です。3 あなたは人をちりに帰らせて言われます。「人の子らよ、帰れ。」4 まことに、あなたの目には、千年も、きのうのように過ぎ去り、夜回りのひとときのようなようです。5 あなたが人を押し流すと、彼らは、眠りにおちます。朝、彼らは移ろう草のようです。6 朝は、花を咲かせているが、また移ろい、夕べには、しおれて枯れます。7 まことに、私たちはあなたの御怒りによって消えうせ、あなたの激しい憤りにおじ惑います。8 あなたは私たちの不義を御前に、私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。9 まことに、私たちのすべての日はあなたの激しい怒りの中に沈み行き、私たちは自分の齢をひと息のように終わらせます。10 私たちの齢は七十年。健やかであっても八十年。しかも、その誇りとするところは労苦とわざわいです。それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。11 だれが御怒りの力を知っているでしょう。だれがあなたの激しい怒りを知っているでしょう。その恐れにふさわしく。12 それゆえ、私たちに自分の日を正しく数えることを教えてください。そうして私たちに知恵の 心を得させてください。